

第1回ワーキンググループでの議論（道路・橋梁）

【身近な橋】

- ・ 専門的な情報をそのまま伝えるのではなく、「この橋が通れなくなると通学時間が〇分増える」といった生活者の単位や言葉に置き換えて発信することが理解につながる。
- ・ 「橋のカルテ」を作成するなど、データを分析して現状の健全度や将来のリスクが見える化し、住民にわかりやすく示すことが大切。
- ・ 「橋を通行止めにする」という社会実験は、災害時のシミュレーションとしても活用でき、有効なアイデア

第1回ワーキンググループでの議論（道路・橋梁）

【橋の優先順位】

- ・ 優先順位の指標は、機能面（緊急輸送道路、孤立リスクなど）と性能面、景観などをグループ化して整理すべきである。
- ・ 優先順位をつける際には、交通量の数字だけではなく、通学や通院、子育ての送迎など生活者の視点や、災害時の避難・緊急輸送ルートとしての防災の観点も重要。
- ・ 優先順位の評価において、子育て層の「送迎交通」のような複雑な生活交通に、現在の評価方法が対応できているか議論を深めるべき。

【橋を選ぶ】

- ・ 全ての橋梁を更新するのは財政的に非現実的であり、今あるインフラを活かす維持・修繕へのシフトや、地域住民との合意形成を図った上で将来的に「架け替えない」という選択肢も検討すべき。

橋の見える化～だれでも見られる橋のカルテ～

全国道路施設点検データベース ～損傷マップ～

利用規約

下記の条件を設定して、
表示ボタンを押して下さい

表示

■施設区分

道路橋

■道路管理者区分

- ☒ 高速道路会社
- ☐ 国土交通省
- ☒ 都道府県、政令市、道路公社
- ☐ 市区町村

■その他条件

健全性

- ☒ IV
- ☒ III
- ☒ II
- ☒ I
- ☒ 未点検
- ☒ 点検対象外

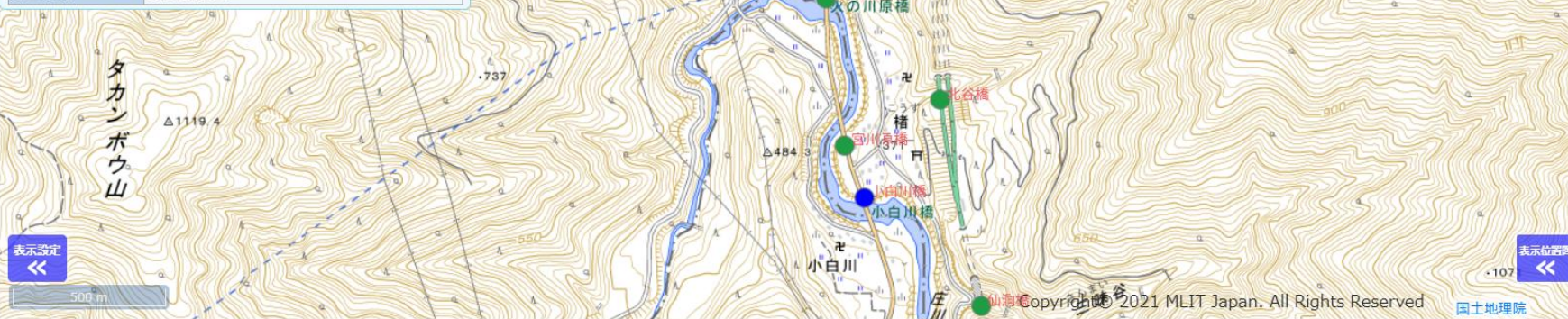
下記のボタンで、表示条件に合致する
施設を一覧表示します。所在地(都道
府県)を指定することも可能です。

全国

一覧画面

概要情報

種類	道路橋
施設名称	猪橋
フリガナ	(イザハシ)
路線名	国道156号
管理者区分	都道府県
管理者名	富山県
管理事務所名	砺波土木センター
都道府県	富山県
市町村	南砺市
位置(緯度)	36.36995
位置(経度)	136.8693
架設年度	1975
供用年度	
橋長(m)	106.9
幅員(m)	9.5
点検実施年度	2022
判定区分	III
措置状況	措置着手済み



全国道路施設点検データベースより
全国の橋のカルテが、常時閲覧可能

<https://road-structures-map.mlit.go.jp/Index.aspx?ReturnUrl=%2f>

第1回ワーキンググループでの議論（自分ごと化）

【インフラの役割の認識】

- ・ 橋を通行止めにするという社会実験は、災害時のシミュレーションとしても活用でき、有効なアイデア
- ・ 橋を通行止めにするなどインパクトのある取組みや親子で意識醸成するイベントなど、動きのある企画は映像としても取り上げやすく、県民の関心を引きやすいのではないか。
- ・ 通行止めなどのインパクトのある自分ごと化の企画は、市町村と連携（官官連携）して進めることでより多くの市民を巻き込める。
- ・ 自分ごと化の取組みについては、例えば橋が使えなくなったら、橋に付随するライフラインも使えなくなる事実を分かりやすく示して、橋の重要性を体感できるような試みがあればよい。

第1回ワーキンググループでの議論（自分ごと化）

【インフラへの愛着の醸成】

- ・ 橋の清掃ボランティアなど、市民が参加できる草の根活動を広めて、県民にインフラへの愛着を持ってもらう取組みが有効
- ・ 全国でもいろいろな思いを持って橋の清掃を行っている方がいるので、小規模でも良いので、そういった人を集めたサミットを行い、広げていければよい。
- ・ シンポジウムは関心のある人しか集まらないため、伝え方や企画については工夫が必要
- ・ 住民が「どこまでなら許容できるか」を見極めるポイントが大切
- ・ インフラ問題が否応なく自分ごとになる時代において、今の段階から住民がポジティブに「私のインフラ」と自分ごとにと捉えられるような工夫が必要